

---

# ある新学期の30分

オリゴン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ある新学期の30分

### 【Nコード】

N9329Q

### 【作者名】

オリゴン

### 【あらすじ】

ある高校生の新学期30分を書いてみました。

共感できる人がいればうれしいです。

新学期春・・・自分は学校に向かっていた。でもなぜか人がいない  
って後2分ちよいで遅刻じゃねえか！太陽の優しい抱擁をうけて、  
幸せな気持ちにひたっていたら時間ギリギリ・・・ 新学期早々遅  
刻するのは、気持ちのいいものじゃない、ていうか周りの目がすご  
くきになる！新学期に遅刻して教室に入る瞬間なんて想像したくも  
ない。

とにかく走った、何回も何回も腕時計と前を交互にいそがしく目を  
動かす。

残り1分！まずい！

最悪の事態が頭をよぎる、見えた！学校だ！

校門を突っ切り玄関に走る。そこで絶句

「ちよっ！」

玄関に鍵をかける先生が見える！

ていうか校門からなんでこんなに玄関が遠いんだああ！とてつも  
なく長く感じる！

つてしかも後20秒！それまでに教室に入らないと恥かく！

「ちよっと待つてえええ！！」と絶叫

先生がびっくりして道をゆずる。玄関を突っ切る

いよっしゃああ！まずは第一関門とっ・・・キーンコーンカーンコ  
ーン・・・

もういい！もういいよ！恥かいてもういいよ！

靴をゆっくり脱ぎ下駄箱にいれ上靴をはいた。相当息が上がってい  
たので普通に歩いた。

そして、階段を上り二年の教室へ

入ろうと思ったが妥協した

ちようど先生が大事(?)な話をしていた、間が悪いのか？これって  
そんなところに「おはようございます」なんて入ったら注目の的じ

やん・・・気まずい。

まあ普通に入っても注目の的だけどさ、ここで突っ立つてるのも男らしくないというか、本能が嫌がっている、よし！いくか！

先生が話してるなんておかまいなしで扉を開けた。

「ガラッ」

途端に冷たい視線がぐさぐさささる。

ほーら、だいじな話してるときにこんなふうに入ったらこうなんだよ！！

ちよつと後悔してる自分がつい20分前・・・。

今はこんなのどうでもいいやとばかりに友達としゃべっている。

こんなの人生ピンチでもなんでもない、皆勤賞逃したとかそういうレベル

だからいいや。日常が楽しんだよね

きつとこんな話でもここまで大げさに話して忘年会や成人になってからの話になって

1分ももたない話題になるんだろーな

「授業はじまるね」となりの女子に言われた。

「んあ？そうだな」適当に答えた。

そんな1分を作るために日常があると俺は考える。

(後書き)

この作品は始めて書いたもので、見ずらいと思います。それでもみていただけるとうれしいです。感想にダメな部分指摘してくれて結構です

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9329q/>

---

ある新学期の30分

2011年10月8日18時09分発行